

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	C-03	講座名	高速道路橋の長寿命化に向けての取り組みを学ぼう！
記載日	2022/7/25	団体名・企業名	中日本高速道路(株) 名古屋支社

〈講座全体の概要〉(300字程度)

高速道路の橋も人間と同じように、長生きするにはケアが必要です。私たちNEXCO中日本グループは、橋の状態を点検で確認し、必要に応じて適切な措置を行うことで、橋の寿命を延ばしています。新しい橋を作り、架け替える場合には多くの資源やエネルギーが必要となるため、橋を長生きさせることで、橋の架け替えを減らした分の環境負荷が軽減されると考えています。

本講座は橋の状態を確認するための「点検」に焦点を当て、各地の橋で実際に悪くなった部分を収集・組み合わせて作られた研修施設「N2U-BRIDGE（ニューブリッジ）」の見学を通じて、皆様に老朽化した構造物の状態や維持管理技術について学んで頂いたものです。



※写真 1 の説明

点検や橋梁に関する座学の様子

※写真 2 の説明

N2U-BRIDGE（ニューブリッジ）見学の様子

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

本講座では、まずは橋を含む構造物の「点検」や、橋の損傷について座学を行い、その後にN2U-BRIDGE（ニューブリッジ）を見学して、実際の橋の損傷を体験していただきました。座学では私たちが構造物に対して行っている点検や、世界で実際に起こった橋の倒壊事象、重量超過の車両が橋に与える影響等を講師が解説しました。橋が布のように波打つ動画や、車の重さが二倍・三倍になると道路へのダメージは何千・何万倍にもなるという図を見て、参加者の皆さまは驚かれた様子でした。見学では、実際の橋の損傷の状態とその補修方法や、展示されている劣化した部材によってどのような事象が起こったのかを、講師が説明しました。皆さま、目の前のひび割れを見つけて指でなぞったり、損傷箇所をのぞき込んだりと、熱心に見学して頂きました。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- ・実物を見ながらでわかりやすかった。
- ・身近に高速道路橋の長寿命化を感じることができた。
- ・トラックの重量オーバーが与える影響の大きさにびっくりしました。
- ・橋の構造・修理方法を直接現物を見ながら学べた。
- ・内容をもう少し詳しくしてほしいかった。今までの知識で理解しているものが多かった。実物を見られたのは興味深かった。